

## 再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> 地域高規格道路 学研都市連絡道路 一般国道163号 精華拡幅	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 近畿地方整備局																										
<b>起終点</b> 自：京都府相楽郡精華町柘榴 至：京都府木津川市相楽	<b>延長</b> 4.6km																											
<b>事業概要</b> 一般国道163号は、大阪府大阪市を起点に奈良県北部、京都府南部を横断し、三重県津市に至る延長約120kmの主要幹線道路である。このうち大阪府門真市～京都府木津川市間の約20kmは、地域高規格道路「学研都市連絡道路」として、関西文化学術研究都市と大阪市および関西国際空港などを結ぶ重要な役割を担っている。精華拡幅は、一般国道163号の精華町から木津川市にかけての交通混雑を緩和し交通の安全を確保するとともに、関西文化学術研究都市へのアクセス性の向上や地域間交流の活発化を目的に計画された道路である。																												
<b>H2年度事業化</b>	S56年度都市計画決定 (S57年度、H17年度変更)	H12年度用地着手 工事未着手																										
<b>全体事業費</b>	224億円	<b>事業進捗率</b> 約3%																										
<b>計画交通量</b>	13,000～26,800台/日																											
<b>費用対効果分析結果</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>B/C</b></td> <td style="width: 15%;">(事業全体) 2.4</td> <td style="width: 15%;"><b>総費用</b></td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 183/194億円</td> <td style="width: 15%;"><b>総便益</b></td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 466/466億円</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;"><b>基準年</b> 平成21年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(残事業) 2.5</td> <td><b>事業費</b></td> <td>165/176億円</td> <td><b>走行時間短縮便益</b></td> <td>401/401億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><b>維持管理費</b></td> <td>18/18億円</td> <td><b>走行経費減少便益</b></td> <td>52/52億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><b>交通事故減少便益</b></td> <td>13/13億円</td> <td></td> </tr> </table>	<b>B/C</b>	(事業全体) 2.4	<b>総費用</b>	(残事業)/(事業全体) 183/194億円	<b>総便益</b>	(残事業)/(事業全体) 466/466億円	<b>基準年</b> 平成21年		(残事業) 2.5	<b>事業費</b>	165/176億円	<b>走行時間短縮便益</b>	401/401億円			<b>維持管理費</b>	18/18億円	<b>走行経費減少便益</b>	52/52億円					<b>交通事故減少便益</b>	13/13億円		
<b>B/C</b>	(事業全体) 2.4	<b>総費用</b>	(残事業)/(事業全体) 183/194億円	<b>総便益</b>	(残事業)/(事業全体) 466/466億円	<b>基準年</b> 平成21年																						
	(残事業) 2.5	<b>事業費</b>	165/176億円	<b>走行時間短縮便益</b>	401/401億円																							
		<b>維持管理費</b>	18/18億円	<b>走行経費減少便益</b>	52/52億円																							
				<b>交通事故減少便益</b>	13/13億円																							
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.1(交通量 +10%) B/C=2.0(交通量 -10%) 事業費変動：B/C=2.3(事業費 +10%) B/C=2.8(事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=2.4(事業期間+20%) B/C=2.7(事業期間-20%)																												
<b>事業の効果等</b> ①関西国際空港へのアクセス向上 ・関西文化学術研究都市(けいはんなプラザ)～関西国際空港の所要時間が短縮。 (100分→80分：20分短縮 [学研都市連絡道路等の効果を含む]) ②地域間交流の活発化 ・沿道の商業施設や公園等へのアクセス性が向上し、大阪都心部と京都府南部の地域間交流の活発化が期待。 ③日常生活圏中心都市である大阪市へのアクセス向上 ・精華町役場～大阪市役所の所要時間が短縮。 (75分→64分：11分短縮 [学研都市連絡道路等の効果を含む]) ④拠点開発プロジェクト等の支援 ・関西文化学術研究都市サード・ステージ・プラン、精華町第4次総合計画、第1次木津川市総合計画を支援。 ⑤防災点検要対策箇所の解消 ・一般国道163号の防災点検要対策箇所(山田川橋)が解消。																												
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地域から頂いた主な意見等： ・平成21年7月、関西文化学術研究都市建設推進協議会（関西経済連合会会長、京都府知事、大阪府知事、奈良県知事、京都商工会議所会頭、大阪商工会議所会頭、奈良県商工会議所会頭、関西文化学術研究都市推進機構理事長より構成）より早期完成の要望を受けている。 ・平成21年10月、一般国道163号整備促進期成同盟会（木津川市長、生駒市長、四條畷市長、精華町長より構成）より精華拡幅の早期完成の要望を受けている。 府知事の意見： ・対応方針(案)のとおり、引き続き事業を推進し、早期の完成に努められたい。																												

事業評価監視委員会の意見	
審議の結果、「国道163号精華拡幅」の再評価は、事業評価監視委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり継続でよいと判断される。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
精華町、木津川市は宅地開発が進み、人口、自動車保有台数ともに増加しており、精華町柘榴付近における交通渋滞は深刻化している。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
現在までに用地取得は約2%完了。今後残る区間の用地買収及び工事進捗を図る。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す。	
施設の構造や工法の変更等	
事業実施にあたり、橋梁形式の見直しや新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

# 再評価結果(平成22年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課  
 担当課長名：深澤 淳志

事業名	地域高規格道路 学研都市連絡道路 一般国道163号 精華拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：京都府相楽郡精華町柘榴 至：京都府木津川市相楽	延長	4.6km		

## 事業概要図

### 【位置図】



### 【概要図】

